

「誇れる」地域の宝

～まちのいいとと～

浅海編



浅海の海岸線と名石山

浅海地区は本市最北部に位置する人口12333人、世帯数470世帯(4月1日現在)の海と山に囲まれた自然豊かな地区です。浅海の地名は「遠浅の海」に由来しているといわれ、美しい海岸線が続いています。

かつては県内最大のナシ産地として発展し、大正時代には「浅海のナシを食わずしてナシを語る資格なし」とまでいわれ、その面影は、浅海小学校の校歌とナシの花をあしらった校章にも残されています。

名石山は標高2974m、円錐形の美しい姿で山頂からは浅海の町並みと美しい瀬戸内海の島々が望めます。浅海小学校の校歌にも歌われ、小学校の卒業記念植樹がなされる

美しい海と山に囲まれたまち

など、地域のシンボルとして親しまれています。

また同地区萩原集落には、市指定無形文化財の「萩原の盆踊り」が残っています。音頭役が声が空に逃げないようにと番傘を広げて歌う、昔ながらの伝統的な風習を残す盆踊りです。



萩原の盆踊り

4月13日開催・浅海公民館・参加者62人



住民の声

・海と山に囲まれ、自然景観が良い

・地域の人の関わりが深く、おかげでイベントが多い

・市道浅海難波線(鴻之坂線)の早期完成をお願いしたい

・図書館など、地域住民が自由に使える施設がほしい

・農家の後継者育成への補助を継続してほしい

※抜粋、要約しています。詳細は市ホームページに掲載します

参加者募集

第26回II湯築・道後地区



【日時】 7月6日(金)19時～20時30分

【場所】 子規記念博物館(道後公園) 4階講堂

【対象】 湯築・道後地区に在住または通勤・通学している人

【定員】 80人程度

【申し込み】 5月31日(木)(消印有効) までに、直接または郵送、ファクス、eメールで、参加申込書(市民参画まちづくり課(市役所本館9階)・道後支所・市ホームページにあり)に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、勤務先(学校名)、市長と話したいことを書いて、〒790-8571市民参画まちづくり課 zichi@city.natsuyana.ehime.jpまたは道後支所へ

お問い合わせは、市民参画まちづくり課 ☎948-6383・FAX 934-3157へ

平成23年度テーマ別寄付額

| テーマ | 寄付額 |
|---------|------------|
| 市長におまかせ | 466万4,000円 |
| 健康・福祉分野 | 229万円 |
| 教育・文化分野 | 155万1,900円 |
| 生活環境分野 | 54万5,000円 |
| 産業・経済分野 | 49万円 |
| 都市基盤分野 | 14万円 |
| 合計 | 968万900円 |

納ふるさと税 全国から約968万円

本市を応援しようとして平成23年度に全国から頂いた寄付は、354件、968万900円です。本市のまちづくりのために活用させていただきます。今後も、より多くの人に応援していただけるよう、本市の魅力をもっと全国へ発信してまいります。

寄付の方法は市ホームページをご覧ください。

お問い合わせは、納税課 ☎948-6850・FAX 934-1802へ



水道水が届く仕組みを紙芝居で解説

「さあ今日も 水と元気が蛇口から」をスローガンに、水道週間(6月1日～7日)のイベントとして、まつやま水道フェスタを開催します。

【日時】 6月3日(日)11～15時

【会場】 総合コミュニティセンター(湊町七丁目)こども館

お問い合わせは、広報課 ☎948-6877・FAX 934-2578へ

市政広報番組

毎週木曜日 20時54分～21時
再放送 / 毎週金曜日 15時55分～16時

6月の番組(予定)は

7日 移動図書館の巡回場所が増えました
14日 まつやま水道フェスタ2012
21日 知って守ろう! 自転車の交通ルール
28日 地域交流センターに芝生を植えよう

お問い合わせは、広報課 ☎948-6877・FAX 934-2578へ



安全集会「セーフティ道後っ子集会」

ボランティアの人たちを招待し、子どもたちが感謝の気持ちを伝えるとともに、自分たちの安全を守るためにいるいるな立場の人が行っている活動の様子を収めた映像を見たり、地域の方の話を聞いたりしました。集会後には子どもたちと地域の人たちが一緒に

子どもを見守る「セーフティ道後」

道後小学校では毎年、安全集会を実施したり、自作教材を活用した道徳の授業を行ったりして安全教育に取り組んでいます。

子どもたちの安全意識を高めることを目的に安全集会「セーフティ道後っ子集会」を5年前から実施しています。集会には児童の安全確保に協力して下さる地域や学生

地域で育つ松山っ子

第20回 道後小学校

児童数 男385人・女390人・計775人(平成24年4月1日現在)



自作教材を活用した道徳の授業

いつもほくたを見守ってくれてありがとうございます。明日からは心をこめてあいさつをしたいと思います。(5年男子)

地域のみなさんが大好きになりました。安全に気をつけて登下校します。(5年女子)

松山っ子の声 (平成23年度当時)

ボランティアの人たちを招待することができ、互いのつながりが深まりました。

こうした取り組みを通して、子ども自らが安全や命の尊さについて考える貴重な機会となっています。